



# ウィングブレード

梵珠少年自然の家

## 1 活動のねらい

- 手づくりのものを使って遊ぶ楽しさを味わうことができます。
- 道具の安全な使い方を習得することができます。

## 2 活動の概要

特製のカタパルト（射出機）で飛ばし、ひらひら落ちたり旋回したりする「ウィングブレード」を作る活動です。

- (1) 人数 120人以内
- (2) 対象 小学校5年生以上
- (3) 期間 通年
- (4) 時間 1.5～2時間（説明20分+活動70～100分）
- (5) 場所 体育館、研修室1・2（製作のみ）
- (6) 経費 70円／1作品
- (7) 指導 依頼のある場合、製作方法等について、自然の家職員が説明を行う。



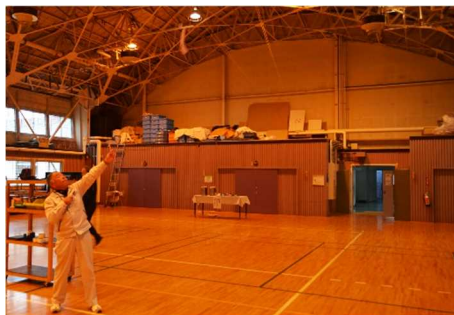
<作品例>

## 3 準備物

団 体	救急薬品
個 人	特になし
自然の家	材料：発泡スチロール片（2枚）、フック（2個）、割り箸、 輪ゴム（大2本・小1本）、セロハンテープ、養生テープ 用具：鉛筆、油性ペン、型紙、カッターナイフ、カッターマット、金属定規 作業板

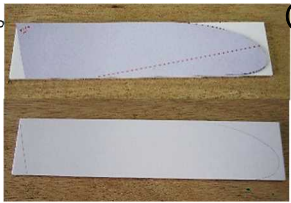
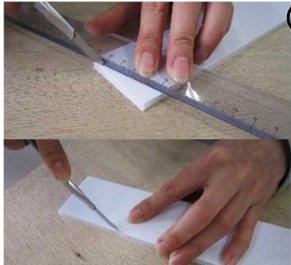
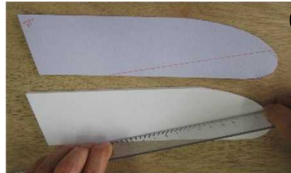


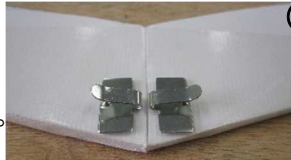

## 4 引率者の役割分担

代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。



<飛ばす様子>

## 5 活動の流れ

	内 容	
説 明	<ul style="list-style-type: none"> <li>参考作品を提示しながら、ブレード飛ばしを実演し、作り方について説明</li> <li>用具の使い方と安全について説明</li> </ul>	
活 動	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 発泡スチロール片に型紙をのせ、1枚ずつ羽の形を描く。 ※羽を2枚使うので、①の作業を2回繰り返す。</li> <li>② 描いた形にそって、カッターナイフで切る。</li> <li>③ 定規を押し当てるようにして、羽に型紙と同じ位置に折れ線を付ける。</li> <li>④ 折れ線を付けた羽をひっくり返し、75度で切った切り口を合わせ、養生テープで留める。(長さ10cm位) ※ 隙間を開けず、しっかり留める。 ※ はみ出たテープは、反対側に折り返して留める。</li> <li>⑤ ④で留めたテープ側に羽を折り重ね、養生テープで留める。(長さ10cm位) ※はみ出たテープは、反対側に折り返して留める。</li> <li>⑥ フック(裏面に粘着テープ付)を左右対称に付ける。 補強のためセロハンテープをクリップの上に貼る。 ※貼る位置は、羽の中心から約5mm開ける。</li> <li>⑦ 羽を開いて、輪ゴムをフックに巻く。 ※羽を閉じた時、輪ゴムの力で羽が勢いよく開く程度に巻く。</li> <li>⑧ カタパルト(射出機)を作る。割り箸に輪ゴム大を2つつなげて結ぶ。結び方は、ひばり結び、巻き結び等、緩まなければよい。</li> <li>⑨ 油性ペンで、お好みの色や絵付けをする。</li> <li>⑩ 完成したブレードを飛ばして遊ぶ。 ・2つ折りにして持ち、片方のフックにカタパルトのゴムをかける。真っ直ぐ下に引いて離し、真上に向けて飛ばす。 ※体育館キャットウォークにのった時は、指導者がとる。 ※外で飛ばすと上空の気流に乗り、屋根の上に乗ってしまうことがあるので、屋外では飛ばさない。</li> </ol>	 ①  ②  ③  ④  ⑤  ⑥  ⑦
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>感想発表や友達の作品の鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具の返却と後片づけ</li> </ul>

## 6 実施上の留意点

- 低、中学年が実施する場合は大人がつくことが望ましい。

## 7 安全に実施するためのポイント

- 刃物を扱うときは、刃の前に指や手を置かないように十分気をつける。
- 用具を散乱させておかないように注意する。